



# 2024

NPO Action Town Lab.  
Annual Report

認定NPO法人

アクションタウンラボ

CERTIFIED NPO ACTION TOWN LAB.

第7期 年次報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

# 代表あいさつ

## Greeting

NPO法人アクションタウンラボは、多くの支援者のみなさまに支えられ、2018年11月に中間支援組織として設立されました。その後、2023年には認定NPO法人の認定を受け、現在は「まちの交流スペース まちスポ福岡東」を拠点に活動を続けています。

私たちは、「孤立をなくす」をミッションに掲げ、地域のみなさまとともに、多様な人々が出会い、活躍できる場づくりに取り組んできました。近年は、商業施設内という立地を活かし、「ひとり親家庭の支援」や「女性の自立支援」など、より具体的な社会課題に焦点を当てた活動を展開しています。

こうした取り組みを進めるなかで実感するのは、地域のNPOや市民団体、行政、自治会、そして住民のみなさまとのつながりの大切さです。「まちスポ福岡東」が、日常的に立ち寄れる身近な場所となることで、自然と声をかけ合える関係が生まれています。

これからも、人と人が繋がる拠点として成長できるよう、スタッフ一同力を尽くしてまいります。地域のみなさまにも、どうぞお気軽にご参加いただければ嬉しく思います。

今後とも、あたたかなご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人アクションタウンラボ

代表理事 耘野 康臣

## 役員体制 (第7期新体制)

### Organization chart

- 代表理事 耘野 康臣 (特定非営利活動法人 九州コミュニティ研究所 理事長)
- 理事 奥村 貴仁 (特定非営利活動法人 九州コミュニティ研究所)
- 理事 間間 理 (九州産業大学商学部 経営・流通学科 教授)
- 理事 園田 真祥 (大和リース株式会社)
- 理事 中山 淳子 (ママの輝く明日を応援する「Domani」代表)
- 理事 伴 和史 (大和リース株式会社)
- 理事 森島 孝 (特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン九州 代表理事)
- 監事 田邊 友也 (特定非営利活動法人まちづくりスポット 専務理事)

## 第7期のテーマ

Theme of the 7th term

# 私の居場所

第7期は事業の公益性を見直し、本団体のミッションである「孤立させない場所づくり」に取り組みました。

まちスポ福岡東が位置する福岡市は、全国ではあまりない人口増加の特性を持ち、新たな人口の流入効果で、経済は上向きですが、これまでのコミュニティに存在していた繋がりが薄れ始めています。そのため、社会的弱者のエリアで貧困や孤立といった課題が顕著に表れている地域です。

そこで、私たちは「ちょこっとサポート」をはじめとするひとり親世帯へのサポート、「ラジオ体操」などの地域のつながりを生み出す機会の創出など、多くの事業を計画し実施しています。

また施設を活かした子ども食堂事業や女性の自立を支援する取り組みなども日常的に実施し、まちスポ福岡東は多くの市民がお越しになって利用していただけるような場所になってきました。このような私たちの活動が、市民一人ひとりの自分の居場所となり、健全な暮らしを支える取り組みとなることを目指しています。

## 特定非営利活動に係る8つの事業

Eight specified nonprofit projects

### 1. 交流スペースの利用促進

- ①まちスポ福岡東の運営
- ②施設利用を促進する事業：まちスポ交流会

### 2. 社会課題への取り組み、まちづくり推進、中間支援・相談対応

- ①社会課題への取り組み
- ②まちづくりに関わる事業
- ③中間支援・相談対応

### 3. 地域活動団体等のネットワーク化

### 4. 人材育成及び研修

### 5. 地域情報の収集・発信

### 6. パブリックスペース等の調査及び研究

### 7. 災害に関する緊急支援及び復興支援

### 8. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- ①会議などの業務
- ②賛助会員の管理

# 数字で見るまちスポ福岡東

## Business report in numbers

**利用者数** **13,349** 名

ミーティングスペースやキッチン付きコミュニティルームは、会議や料理教室、地域イベントなど多彩な用途で利用され、交流の拠点として親しまれています。特にキッチン付きの部屋は、料理を通じた学びやつながりの場として好評です。

**賛助会員数** **156** 名

賛助会員数は、現時点で156名です。多くのご支援を受け、認定NPO法人の運営ができました。会員のみなさまの期待に応えるためにも、安定運営と活動のクオリティを向上させることができる組織づくりを進めます。

**事業本数** **29** 本(事業開催数/121回)

地域の交流と学びの拠点として、ひとり親支援や子ども食堂、防災啓発、キャリア支援など多様な取り組みを実施。市民のつながりを育み、地域団体や企業、行政と連携して地域課題の解決や持続可能なまちづくりにも貢献しました。

**受取助成金** **3,059** 千円

「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」などから約300万円の助成金を受け、食品や生活雑貨を配布しました。これにより、ひとり親家庭の生活支援を充実させることができ、多くの市民の安心につながりました。

## 1. 交流スペースの利用促進

### 1. Promotion of the use of exchange spaces

#### ①まちスポ福岡東の運営

「まちスポ福岡東」は、地域で活動する市民の方々をはじめ、NPOなどの団体、企業、教育機関、行政、自治会など、さまざまな立場の人や組織をつなぎながら、地域の課題解決に取り組む活動を支える“ハブステーション”として設置された、まちづくりのための交流拠点です。キッチンを備えたコミュニティルームでは、定期的に料理教室や、乳幼児を持つ親子向けのワークショップ・交流会、絵画コンテストの作品展示、マルシェイベントなどが開催され、新たな出会いが生まれる場や、暮らしの質を高めるスキルアップの機会として親しまれています。

また、商業施設「ランチ福岡下原」内のシェアスペース「ハッシュタグ」の運営管理も担っており、屋外テラスやイベントスペースとの連携を活かしながら、施設全体を使った大規模イベントにも対応しています。

さらに、受付窓口では「地域で活動してみたい」「地域とつながりたい」といった思いを持つ個人や団体の方からのご相談をお受けし、公的機関や地域団体、利用団体などをご紹介したり、マッチングを行ったりしています。こうしたつながりから、地域に根ざした新しい活動が次々と生まれています。

#### ②施設利用を促進する事業：まちスポ交流会

さまざまな機能を持ち、いろいろな場面でご活用いただける施設の魅力を知っていただくために、5月と6月の2回にわたって、施設見学をかねた交流会を開催しました。ご参加くださった方の多くが、まちスポ福岡東に初めてお越しくださった方々で、施設のことを知っていただく良いきっかけになりました。この交流会を通じて、その後に講座やイベントに参加して下さる方もいっしょに、新しい出会いやつながりが生まれる機会となりました。



## 2. 社会課題への取り組み、まちづくり推進、中間支援・相談対応

### 2. Efforts to address social issues and intermediary support

#### ① 社会課題への取り組み

##### ちよこっとサポート (通年)

>参加者数：662名

ひとり親家庭を対象に、食品や生活雑貨の配布支援を行う事業です。地域の方々や企業、社会福祉法人などから寄付いただいた品物を活用し、必要としている家庭へ定期的に提供しています。この事業の特徴は、単なる支援物資の配布ではなく、受け取りの場面を活用して孤立しがちなひとり親の生活上の悩みや困りごとについての相談の機会としているところです。相談しにくい内容も顔を合わせて話すことで、寄り添ったサポートに結びついています。

今年度は、助成金を活用することで、内容をさらに充実させることができ、より多くの家庭に温かい支援を届けることができました。



##### みんな食 Minna (通年)

>参加者数：5,687名

子ども食堂の運営支援を通じて、食を通じた地域づくりを推進しました。毎月第1・第3金曜日にはフードパントリー（食品配布）、第2・第4金曜日には地域食堂を開催し、必要とする家庭や地域のみなさまの支援を継続的に行っています。この活動は、孤立しがちな共働き世帯の子どもたちや一人暮らしのシニアにとって欠かせない安心して集まれる場となっています。

今年度は、九州産業大学と連携し、食を学ぶ学生が参加しています。この場を食文化の学びと実践の機会とし、彼らの経験が増すとともに、地域と学生の交流の一步目として機能してきました。



##### スマイルフードドライブ 2024

>参加者数：50名

日常的に実施しているフードドライブを、10月の「食品ロス削減月間」に合わせて強化した事業です。地域の子ども会と連携し、子ども会で回収した食品を持ち寄っていただき、親子で食品ロスについて学ぶクイズ大会や、廃棄予定の野菜などを活用した昼食づくりを一緒に行いました。

初めての社会活動となった子どもも多く、社会的意義の大きな取り組みとなっています。



## ②まちづくりに関わる事業

### 花活クラブ (通年)

>参加者数：195名

福岡市花と緑のコーディネーター「花むすび」と協働し、「ブランチ福岡下原」の花壇整備を通じて、市民の交流の場づくりに取り組んでいます。協力して定期的の実施することで、参加者は増え続けて、安定した人気コンテンツに成長しました。この活動は、参加者にとって、季節の花のお世話だけでなく、作業後にコミュニティルームにて仲間のみんなど交流会を実施することも楽しみの一つになっています。

会では、園芸に関する話題だけでなく、日々の暮らしについても自由に語り合う機会となり、参加者にとって貴重なコミュニケーションの場となっています。花壇整備を通じたこの取り組みは、地域に彩りを添えるとともに、人と人との心をつなぐ温かな活動として、今後も継続する計画です。



### Le Monde マルシェ

>参加者数：5,050名

これまで地域で開催されていた2つのマルシェを合わせた形で開催する『Le Monde マルシェ』を、今年度9月より定期開催しています。このマルシェは、社会的弱者の子どもを持つ家庭や女性の自立を目指すみなさまの社会的な繋がりを生み出すことを目的とした誰もが参加できる交流の場です。そのため、商品売るだけでなく、多様な参加者が自分らしく表現活動を行うような様々なコンテンツが実施されています。こうした取り組みが、このマルシェ全体の価値や魅力をさらに高めています。マルシェ出展者からは、「いつも会えない人に出会うことができた」「売上よりも、繋がりが嬉しい」といった声が寄せられています。

マルシェ自体も、継続することで認知が広がり、まちスポ福岡東の利用者増加に繋がり、社会課題を地域で取り組み、販わいを創出する場として成長を続けています。

今後は、就労支援施設などにも出展の機会を提供し、社会参加のステップアップに繋がるような展開を目指していきたいと考えています。



## 子育てイベント

>参加者数：244名

主に乳幼児の親子を対象に、子育て中の保護者同士が気軽に交流できる機会を提供しています。今年度は、「子どもの能力を引き出す」をテーマに、リトミックや絵本の読み聞かせ、ベビーヨガなど、子どもの成長を促す多彩なプログラムを実施しました。

親子のふれあいが深まるとともに、子育て期に感じる不安や悩みを分かち合えるつながりが生まれ、地域全体で子育てを支える温かい環境づくりへとつながっています。



## ラジオ体操 (通年)

>参加者数：2,990名

毎朝継続して行っているラジオ体操は、今では地域に根付いた習慣のひとつとなっています。シニア層を中心とした地域の健康づくりはもちろんのこと、地域住民同士が自然に出会い、交流できる貴重な場です。毎朝顔を合わせることで、「おはよう」と声をかけ合う関係が生まれ、名前も知らなかったご近所の方と親しくなるきっかけにもなっています。こうした日々の小さなつながりが、参加者のみなさまの地域への関心や他の活動へと広がり、いろんな場所に足を運ぶきっかけにもなっています。このラジオ体操は、単なる健康習慣にとどまらず、地域住民一人ひとりが地域コミュニティへの参加の入口として、温かいつながりを育む大切な活動となっています。



## みんなのスポット (7-8月)

>参加者数：148名

夏休み期間中、コミュニティルームを開放し、子どもたちが安心して過ごせる場を提供しました。見守りスタッフを配置し、午前中は主に宿題や勉強、読書など静かな時間を過ごせる環境を整えました。午後からは、読書感想文や自由研究に役立つワークショップや料理教室など、多彩なプログラムを開催。子どもたちは楽しみながら学びに取り組み、充実した夏休みを過ごすことができました。この取り組みは、地域の子どもたちの学習支援や居場所づくりとして好評を得ています。



## 料理教室

>参加者数：284名(8プログラム)

今年度は、料理をテーマにした体験型教室を複数実施し、食を通じた交流を促進しました。クリスマスやバレンタインなどの季節や行事に合わせた内容で、初心者でも楽しめる、家庭でも再現できるプログラムを提供しています。キッチンを持つまちスポ福岡東の強みが活かされた事業となっています。



## まちスポ福岡東 周年祭

>参加者数：348名

まちスポ福岡東のあるランチ福岡下原の周年祭に参加しました。私たちは、「親子のコミュニケーション」をテーマに、身体を動かしながら親子のつながりを深める体験型コンテンツを実施し、大きな盛り上がりを生み出しました。周年祭の参加は、私たちにとってもテナント間の連携や接点を持ちにくい市民との出会いの場となっています。



## ③ 中間支援・相談対応

>相談件数：144件

まちスポ福岡東の相談窓口では、これから地域活動や社会活動を始め方、暮らしの困りごと、地域課題への対応などの課題を持つ市民に相談窓口を開いています。解決に向かうものもあれば、専門的な機関へ繋ぐなどの「地域の悩みの入口」を目指して稼働させています。



## 2024年度、他にもこんな事業がありました

今年度は、多彩な講座やワークショップを通じて、地域のみなさまに学びや交流の機会を提供しました。簿記の基礎をじっくりと学べる「初級簿記講座」をはじめ、11月からは親子で楽しめるフラワーリース作り、しめ縄作りワークショップを開催しました。これらのプログラムは、学びや交流を通じて地域のつながりを深め、生活の質を向上させることを目的としています。今後も多様なニーズに応えながら、より良い地域づくりに取り組んでまいります。

- 初級簿記講座 (9月5日~全26回)
- グリーンコンポスト堆肥作り研修会 (9月16日)
- 親子でフラワーリース (11月10日)
- しめ縄作りワークショップ (12月21日)
- お正月の花飾りを作ろう!
- まちスポ鏡開き (1月13日)
- 女性のための未来を描く  
キャリアデザインワークショップ (2月14日、2月16日)
- 福岡多胎交流会 (3月5日) など

## 3. 地域活動団体等のネットワーク化

### 3. Network development

今後の活動の参考とネットワークづくりを目的として、「全国まちスポ交流会」へ参加しました。他地域での先進的な取り組みや実践事例の共有を通じて、多くの学びや気づきを得ることができ、また、参加者同士の交流も深まりました。他にも、全国のまちスポ事務局長が参加するオンライン情報交換会を定期的実施し、課題や取り組みについて意見交換を行うなど、各地のまちスポとの広域的な連携を図りました。



## 4. 人材育成及び研修

### 4. Human resource development and training

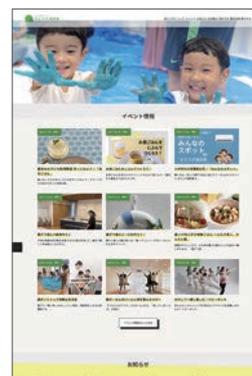
職員のスキル向上と業務の質の向上を目的に、さまざまな研修や視察を行いました。簿記講座へ参加して、会計業務の理解を深め、日々の運営に役立てています。また、防災管理新規講習を受講し、災害時の対応力や安全管理体制の強化にも取り組みました。さらに、他のまちづくり施設やNPOが実施する事業の視察を行い、運営の工夫や地域との関わり方など、実践的な学びを得る機会となりました。



## 5. 地域の情報収集・発信

### 5. Community information gathering and communication

周辺の公民館や自治協議会と連携し、地域の情報収集に努めました。集めた地域の情報はFacebookで発信したり、館内に広報物を配架することで、多くの方に地域の取組みを知っていただく機会をつくっています。また、館内の展示ギャラリーでは、近隣の大学生による絵画作品や、女性起業家支援講座の受講生による作品展示を行い、地域の才能が広く紹介される場となりました。



## 6. パブリックスペース等の調査及び研究

### 6. Research on public spaces

目的や取り組みが参考になるパブリックスペースを調査しています。今年度は、地域のにぎわいや交流の促進に大きく寄与している「新宮CoCoスクエア」への視察を行いました。施設見学だけでなくイベントにも参加し、その取り組みや運営方法を体験させてもらいました。特徴として多世代の参加者の交流が盛んに実行されており、まちスポ福岡東の今後の企画運営にも参考となる多くの学びを得ました。



## 7. 災害に関する緊急支援及び復興支援

### 7. Emergency and reconstruction support in relation to disasters

#### 防災の学校 2025

>参加者数：300名

20年前に発生した福岡県西方沖地震の日に合わせて防災イベントを開催しました。遊びをテーマにした体験型のプログラムを通じて、子どもから大人まで楽しみながら防災について学べる機会を提供しました。また、防災食の試食会も実施し、災害時の食の備えについても理解を深めることができました。

(協力：NPO法人好きっちゃ北九州、グリーンバード大牟田チーム、みんな Minna)

#### <実施コンテンツ>

ぼうさいビンゴ、防災〇×クイズ、8割がた大丈夫だろうゲーム(くじ引きゲーム)、ダイバーシティかるた(カルタゲーム)、災害ダーツ(ダーツ)、SDGs 神経衰弱(カードゲーム)、緊急速報ハンドベル(音で遊ぶ)、災害ぶたのしっぽ(カードゲーム)、免震バランス棒(体感遊び)、hug cafe カードゲームで防災を学ぼう、防災食試食会アルファ米を食べてみよう



## 8. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 8. Other supportive efforts as needed

#### 会議などの業務

認定NPO法人として、適正な法人運営と情報公開、意思決定の透明性を確保するため、各種会議を通じた組織運営を行っています。通常総会の開催では、事業報告や決算・予算の承認など、重要事項について正会員のみなさまと共有・確認しています。あわせて、年4回開催する理事会では、法人の方針や事業計画に関する審議・決議を行い、健全かつ責任ある運営体制を構築しています。また、定例会では、事業の進捗状況の共有や課題の整理を行いました。これらの会議事業を通じて、地域に根ざした活動を継続的かつ効果的に推進しています。

会議名	回数
通常総会	1回 / 年
理事会	4回 / 年
定例会	12回 / 年

#### 賛助会員の管理

認定NPO法人として必要な環境である賛助会員のみなさまの支援は、年間平均100名が必須です。これまで銀行振込や郵便、現金での取り扱いも多かったために、毎年度多くの継続できない会員が生まれていました。これを今期、デジタルツールの導入や改めて再度広くみなさまへのご協力依頼を行った結果156人の賛助会員に支援いただき、落ち込んでいた前年度の会員数をカバーすることができました。

年度	会員数
2020年度	72名
2021年度	150名
2022年度	90名
2023年度	58名
2024年度	156名
2025年度 (R7.6.9 現在)	7名

# 予算計画・財務報告

## Budget plan / Financial report

今期は運営体制を一新し、組織の再構築を行いました。特に運営基盤の整備に注力し、人材育成にとどまらず、業務の効率化や情報共有の仕組みづくりを進め、事務局運営の見直しと改善を図りました。事業については、外部の専門家との連携を積極的に取り入れながら実施し、質の高い運営を目指しました。

また、管理コストの削減に努めるとともに、寄付金を有効に活用し、無駄な経費を抑えることで、結果として約400万円の黒字を計上することができました。これにより、繰越正味財産は800万円を超え、約3か月分の資金を確保することができ、立ち上げ当初に目標としていた安定した資金運用に向けた基盤が整いました。

## 収入について

設立当初より、企業からの大きな寄付収入に支えられ、安定した運営を継続することができています。今期は、その寄付収入に加えて事業収入が増加し、多様な財源の獲得が一層進みました。この事業収入の増加は、職員の地道な努力が実を結び、過去最高額の助成金を獲得できたことが大きな要因です。

また、「ランチ福岡下原」との良好な関係性が築かれたことで、イベント開催や共同事業の機会が増えたことも収入拡大に寄与しました。依然として寄付収入が運営の柱であることに変わりはありませんが、事業収入は全体の35%となり、第2ステージのミッションである「事業収入の増加」を推進しています。

今後は、この流れを展開し、持続可能かつ強固な運営体制の確立を目指してまいります。

## 支出について

今期は、運営基盤の強化に力点を置いた予算執行を進めた結果、従来とは異なる財務バランスとなりました。

まず、事業の実施には外部の協力者と連携して取り組んだことから、事業人件費が減少し、代わりに業務委託費がこれまでよりも増加しています。また、助成金を活用して実施した事業「ちょこサポ」は、経済的に困窮する家庭への物資提供を目的としたものであり、その提供物資の購入に伴って消耗品費が大幅に増加しました。

また、組織の再構築では、森島理事に常務理事として参画いただき、無駄な支出を極力抑える運営を行った結果、効率的な経費運用を実現することができました。

なお、全体経費に占める事業経費と管理経費の割合については、設立当初は事業経費が約90%を占めていましたが、今期は70%を下回る水準となっており、財務構造としても持続可能性を意識したバランスの取れた形へと移行していると考えています。

### 第6期活動計算書

科目	金額		
1 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	602,000	662,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金		14,000,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金		3,059,419	
4. 事業収益			
事業収益		4,300,000	
5. その他収益			
雑収入		92,016	
経常収益計			22,113,435
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
通勤費	350,320		
雑給	230,237		
給料手当	2,897,308		
法定福利費	440,946		
人件費計	3,918,811		
(2) その他経費			
謝金	560,250		
設備整備費	526,900		
福利厚生費	37,871		
旅費交通費	116,673		
通信運搬費	250,907		
消耗品費	3,036,219		
業務委託費	3,179,566		
支払手数料	25,771		
研修費	31,000		
保険料	113,984		
減価償却費	44,249		
印刷製本費	97,800		
リース料	151,800		
広告宣伝費	464,542		
その他経費計	8,637,532		
事業費計		12,566,343	
2. 管理費			
(1) 人件費			
雑給	6,138		
給料手当	3,249,404		
法定福利費	617,702		
人件費計	3,873,244		
(2) その他経費			
広告宣伝費	412		
通勤費	248,400		
業務委託費	522,500		
地代家賃	174,600		
保険料	101,590		
諸会費	70,000		
減価償却費	74,554		
旅費交通費	82,902		
通信運搬費	77,899		
消耗品費	298,399		
支払手数料	54,576		
租税公課	1,050		
その他経費計	1,706,882		
管理費計		5,580,126	
経常費用計			18,136,469
当期経常増減額			3,976,966
税引前当期正味財産増減額			3,976,966
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			3,905,966
前期繰越正味財産額			4,226,879
次期繰越正味財産額			8,132,845

# Our mission

私たちのミッションは、「孤立させない場所づくり」です。誰もが安心してつながり、支え合える地域社会を目指し、私たちは「まちスポ福岡東」を主な活動拠点として、地域課題の解決に取り組む団体や個人が出会い、連携できる場づくりを進めています。社会からの信頼に応えるべく、適正で持続可能な運営体制を整え、2023年には認定NPO法人の取得に至りました。これは、私たちの活動が公益性を認められた証であり、次のステージへの大きな一歩となりました。今後は、自主事業プログラムの開発に力を入れ、アクションタウンラボらしい社会活動を生み出します。

その実現のためにはみなさまのご協力が不可欠です。ぜひ、応援をよろしくお願いいたします。

## 私たちの活動に、ご支援の協力をお願いします。

### 賛助会員

- 個人賛助会員 3,000円/年
- 団体、法人賛助会員 10,000円/年

【ウェブでのお申し込み】 寄付専用のウェブページです。安心してご利用できます。

<https://msfuk.jp/donation/>



【郵送でのお申し込み】 まずは下記の要領でご連絡をお願いします。

お名前、ご住所、電話番号を、メール、FAX、郵送でご連絡ください。こちらから返信いたします。

[メール] main@msfuk.jp [FAX] 092-719-0291

[郵送] 〒813-0002 福岡市東区下原4-2-1 ブランチ福岡下原2F

特定非営利活動法人アクションタウンラボ 事務局

### ●賛助会員特典

- ・アニュアルレポートの配信 ・1年に1回実施する活動報告会へご招待いたします。
- ・ご希望の方にはウェブサイトにて「賛助会員」としてお名前を記載します。

### 一般寄付

#### ●ご自分の都合に合わせて自由な金額でご支援いただけます。

寄付をご検討の方も、上記寄付専用Webページで申し込むことができます。

また、銀行振込や現金での納入も可能です。

詳しくは、アクションタウンラボ事務局（まちスポ福岡東）までご連絡ください。

認定NPO法人

アクションタウンラボ

CERTIFIED NPO ACTION TOWN LAB.

住所 〒813-0002 福岡市東区下原4-2-1 ブランチ福岡下原 2F

TEL 092-719-0290 FAX 092-719-0291 MAIL main@msfuk.jp

まちスポ福岡東 公式ウェブサイトはこちら <https://msfuk.jp>

